

「GPS 端末を用いた歩行空間のバリアフリー化に向けた安全度の  
分析・評価に関する調査報告」図 10 及び図 19 に  
掲載されているバリア要素の補足資料集

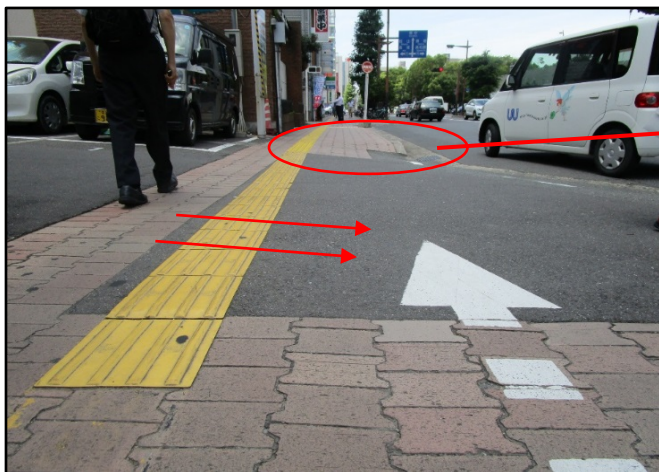
本資料集は、「GPS 端末を用いた歩行空間のバリアフリー化に向けた安全度の  
分析・評価に関する調査報告」（別冊資料2-①）の図 10（バリア要素：高松市）  
及び図 19（バリア要素：丸亀市）に掲載されているバリア要素のうち、調査協  
力者（障害のある方々）からご意見のあった箇所について、拡大した写真や別角  
度から撮影した写真等により、バリアの要素を補足するものです。

図 10 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	高松ーイ	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 13 日 平成 30 年 7 月 21 日	図 10 (バリア要素：高松市) に掲載されている箇所記号	b
バリアの内容	駐車場への車両進入を円滑にするため、歩道と車道の段差をなくした結果、歩道が車道側に傾斜している。				

【現地写真】

[写真 1]



拡大した写真

[写真 2]



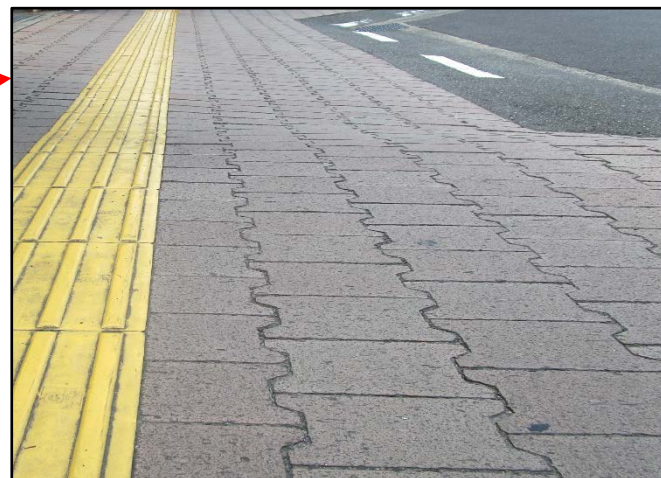
(注) コインパーキングの出入口付近に点字ブロックが敷設されている。また、この路面は、車道側に向かって急な下り傾斜になっている。

(注) 調査時は、赤枠の位置で車椅子の前輪が引っ掛かり、身動きがとれなくなったため、点検同伴者が車椅子を押すなど、介助する必要があった。

[写真 3]



[写真 4]



拡大した写真

- (注) 1 写真 1、2 の地点を通過してすぐの場所（別のコインパーキング出入口）に、更に急な傾斜が見られた（矢印方向に下っている）。  
2 調査時は、同伴者が車椅子を押して通行した。

（調査協力者（障害者）からのコメント）

○駐車場の出入口付近には急な傾斜があり、ここを通過するのは大変だった。【車椅子使用者】

○点字ブロックの敷設面が傾いていると、不安を感じてとても歩きづらい。【白杖使用者】

図 10 に掲載されているバリア要素の補足資料

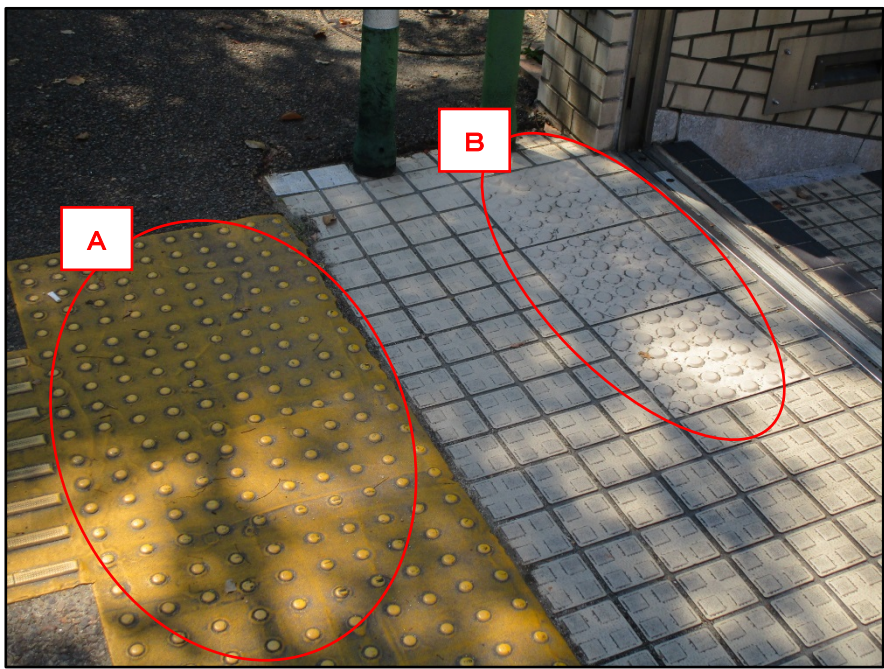
ゾーン名	高松一ハ	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 15 日	図 10 (バリア要素：高松市) に掲載されている箇所記号	e
バリアの内容	地下通路に下りる階段入口付近において、歩道側には黄色い警告ブロックが敷設されており（写真 A 枠内）、階段側には床面と同系色の警告ブロックが敷設されている（写真 B 枠内）。				
【現地写真】					
[地下通路へ下りる階段入口]					
					
<p>(注) 階段側の点字ブロックは、歩道側の黄色い点字ブロックに比べて分かりづらい（目立たない）。</p>					
<p>(調査協力者（障害者）からのコメント)                  自分は点字ブロックの上を歩いているが、点字ブロックの色が路面と同系色の場合は、どこにあるのかが分かりづらい。【白杖使用者】</p>					

図 10 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	高松一ニ	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 15 日	図 10 (バリア要素：高松市) に掲載されている箇所記号	f
バリアの内容	民有地内にある植木の枝が、歩道の点字ブロック上付近（歩行者の顔の高さ）まではみ出している。				
【現地写真】					
[写真 1]		[写真 2：(写真 1 を別角度から撮影)]			
					
<p>(注) 点字ブロックの敷設位置が店舗側に寄っている。</p>		<p>(注) 植木の枝が、点字ブロック上を歩く歩行者の顔や体に触れる位置にはみ出している。</p>			
<p>(調査協力者(障害者)からのコメント)</p> <p>民有地内にある植木の枝が歩道の点字ブロック上(目や顔に当たる高さ)にはみ出していると、白杖で事前に察知することができず危険である。また、固い枝等がはみ出している場合は、目や皮膚を傷つける可能性があるため、大変危険である。【白杖使用者】</p>					

図 10 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	高松一ニ	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 15 日	図 10 (バリア要素：高松市) に掲載されている箇所記号	g
バリアの内容	街路樹の根上がりの影響により、歩道のレンガ舗装が持ち上げられ、交差点付近に敷設された点字ブロック付近の路面が隆起している。				
【現地写真】					
[写真 1]		[写真 2]			
					
		拡大した写真			
<p>(注) 隆起した箇所のレンガ舗装がずれて、路面に凹凸が生じている。</p>					
<p>(調査協力者 (障害者) からのコメント)</p> <p>○路面の隆起により急な傾斜ができており、車椅子で通行する際には、傾斜を避けて通行する。【電動車椅子使用者】</p> <p>○路面の隆起している箇所に車椅子の前輪が引っ掛かるため、隆起している箇所を避けて通行する必要がある。【車椅子使用者】</p>					

図 10 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	高松一ホ	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 15 日	図 10 (バリア要素：高松市) に掲載されている箇所記号	h
バリアの内容	レンガ舗装された歩道の幅が狭く、点字ブロックが歩道の中央部に敷設されている。また、路面が車道側向けに緩やかな下り傾斜になっている。				
【現地写真】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>[写真 1]</p>  <p>(注) レンガ舗装の歩道中央部に、点字ブロックが敷設されている。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[写真 2：(写真 1 を別の位置から撮影)]</p>  <p>(注) 1 歩道は、車道側向けに緩やかな下り傾斜が続く。 2 赤枠内は平坦になっている。</p> </div> </div>				
<p>(調査協力者(障害者)からのコメント)</p> <p>○歩道は車道に向かって緩やかな下り傾斜が続いていて、車椅子で走行しづらいため、建物側(写真 2 赤枠)を走行した。【車椅子使用者】</p> <p>○路面の僅かな凹凸でも車椅子の車輪には大きく影響して走行しづらいため、レンガ舗装はやめてほしい。【車椅子使用者】</p> <p>○点字ブロック上を歩いていると、他の通行者(特に自転車)との距離が近いため、不安を感じてとても歩きづらい。点字ブロックは、なるべく歩道の端の方に敷設してほしい。【白杖使用者】</p>					

図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀ーイ	調査実施 年月日	平成 30 年 6 月 24 日 平成 30 年 7 月 16 日	図 19 (バリア要素：丸亀市) に掲載されている箇所記号	a
バリアの内容	建物とバス停に挟まれた歩道の幅が狭い。また、建物周辺の駐輪自転車が歩道にはみ出しているため、歩行可能な歩道の幅が更に狭くなっている。				
【現地写真】					
[写真 1]		[写真 2]			
 <p>(バス停)</p>					
<p>(建物周辺に止められている自転車) 後輪の一部が、歩道に少しはみ出ている。</p>		<p>(注) 歩道全体の幅 (A) に対し、歩道の一部の幅が、 建物周辺の駐輪自転車やバス停の影響により、 狭くなっている (B)。</p>			
<p>(調査協力者 (障害者) からのコメント)</p> <p>○自転車が歩道にはみ出して駐輪されている場合、歩道が更に狭くなるので、車椅子では走行しづらい。【電動車椅子使用者】</p> <p>○歩道が狭い上、点字ブロックのすぐそばに支柱やバス停 (案内板) が立てられており、また、自転車が歩道まではみ出して止められていて、とても歩きづらく感じる。【白杖使用者】</p>					



図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀一〇	調査実施 年月日	平成 30 年 7 月 16 日	図 19 (バリア要素 : 丸亀市) に掲載されている箇所記号	b、c
バリアの内容	幅の広い歩道上の点字ブロック付近に駐停車されている車両が目立つ。				
<p data-bbox="212 406 358 438">【現地写真】</p> <div data-bbox="434 474 1182 1038">  </div> <p data-bbox="1198 973 1944 1037">(注) 点字ブロック付近に駐車された自動車。駐車位置が更に点字ブロック側に寄ると、円滑な歩行の妨げとなる。</p>					
<p data-bbox="212 1112 716 1144">(調査協力者 (障害者) からのコメント)</p> <p data-bbox="201 1157 2072 1228">この歩道には、点字ブロックのすぐそばや点字ブロックをまたいで車両が駐車 (停車) されていることが多く、点字ブロックを使用して歩行する際の妨げとなっている。【白杖使用者】</p>					

図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀一ハ	調査実施 年月日	平成 30 年 6 月 24 日 平成 30 年 7 月 16 日	図 19 (バリア要素：丸亀市) に掲載されている箇所記号	d
バリアの内容	歩道に面した駐車場などへの車両進入口周辺において、歩道から車道にかけての傾斜が急になっている。				
【現地写真】					
					
<p>(注) 1 全体的に矢印の方向に傾斜(下り)している。                  2 歩道に点字ブロックが敷設されていない。                  3 歩道の幅が狭く、車道との距離が近い。                  4 路面に細かな凹凸がみられる。</p>					
<p>(調査協力者(障害者)からのコメント)</p> <p>○歩道が車道側向けに傾斜しているため、車椅子で走行中に車道側に流されてしまうと思う。【電動車椅子使用者】</p> <p>○歩行訓練では、白杖で地面をこすりながら進むのが良いとされているため、路面が凹凸だと白杖の先が引っ掛かって歩きづらい。【白杖使用者】</p> <p>○点字ブロックが敷設されておらず、歩きづらい。【白杖使用者】</p>					

図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀一ハ	調査実施 年月日	平成 30 年 6 月 24 日	図 19 (バリア要素：丸亀市) に掲載されている箇所記号	e
バリアの内容	歩道側に並んでいる大きい街路樹の根っこが歩道の下にまで伸びてきており、歩道の浮き上がりによる凹凸ができています。				

【現地写真】



- (注) 1 街路樹の根上がりの影響で、周囲のアスファルトが隆起している (赤枠)。  
 2 通行可能な歩道の幅 (矢印) が、狭くなっている。

(調査協力者 (障害者) からのコメント)

街路樹の根元付近が隆起しているため、車椅子で通行する際には、わざわざこれらの箇所を避けて通行する。【電動車椅子使用者】

図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀一ニ	調査実施 年月日	平成 30 年 6 月 24 日 平成 30 年 7 月 16 日	図 19 (バリア要素：丸亀市) に掲載されている箇所記号	g ①、g ②
バリアの内容	横断歩道口で歩道から車道にかけての傾斜が急になっている。				

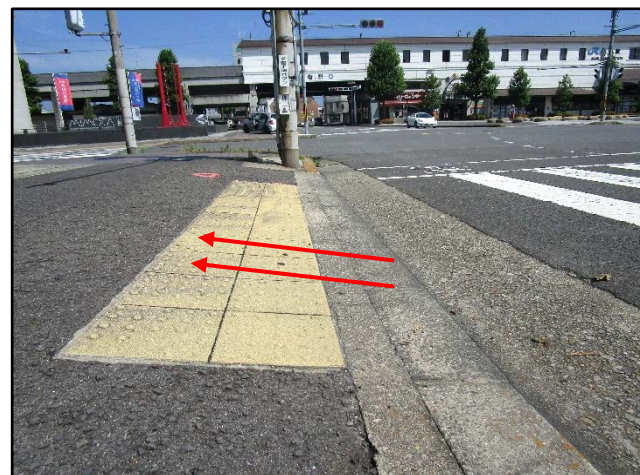
【現地写真】

[写真 1：g ①]



(注) 矢印の方向に、急な下り傾斜になっている。

[写真 2：g ② (写真 1 を横断した先)]



(注) 矢印の方向に、急な上り傾斜になっている。

(調査協力者(障害者)からのコメント)

○歩道から車道にかけて急な下り傾斜があるため、車椅子から転落する可能性がある。また、横断歩道を渡った後も、車道から歩道にかけての傾斜を上るのが困難である。【電動車椅子使用者】

○車道から歩道にかけて上り傾斜になっており、歩行しづらい。【白杖使用者】

図 19 に掲載されているバリア要素の補足資料

ゾーン名	丸亀一へ	調査実施 年月日	平成 30 年 6 月 24 日 平成 30 年 7 月 16 日	図 19 (バリア要素：丸亀市) に掲載されている箇所記号	j
バリアの内容	商業ビルの商品搬入口への車両進入を円滑にするため、歩道がビル内部に向かって傾斜している。				
【現地写真】					
					
<p>(注) 歩道が、矢印の方向に急な下り傾斜になっている。</p>					
<p>(調査協力者 (障害者) からのコメント)</p> <p>○歩道の平らな部分が狭く、車両の出入りのためか傾斜がある部分が長いため、どうしても建物側に流されてしまう。その際には、車椅子の向きを変えなければならず、走行が大変である。【車椅子使用者】</p> <p>○歩道側から建物側に向かって傾斜があるため、走行している際に、建物側に徐々に流されると思う。【電動車椅子使用者】</p>					